

KORG

Slim-Line USB Controller

nanoPAD2

Parameter Guide

パラメーター・ガイド

目次

はじめに	3
準備	3
ゲート・アルペジエーターの動作	4
タッチ・スケール・モードが“オフ”の場合	4
タッチ・スケール・モードが“オン”の場合	5
タッチ・スケール・モードの動作	6
タッチ・スケール・モードの発音範囲	6
nanoPAD2のシーン・パラメーター	7
Trigger Pad	7
nanoPAD2のグローバル・パラメーター	8
Common	8
X-Y Pad	9
Touch Scale	10
User Scale	11
工場出荷時の状態に戻す方法	12
故障とお思いになる前に	13
付録	14
スケール・リスト	14

* Mac、Macロゴ、およびMac OSは、Apple Inc.の登録商標です。

* Windows XP、Windows VistaおよびWindows 7は、Microsoft Corporationの登録商標です。

* すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

* 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

はじめに

このnanoPAD2 パラメーター・ガイドでは、nanoPAD2の詳細な動作や、設定できるパラメーターについて説明します。
詳細な設定をしたい方は、本ガイドをお読みになってご使用ください。

準備

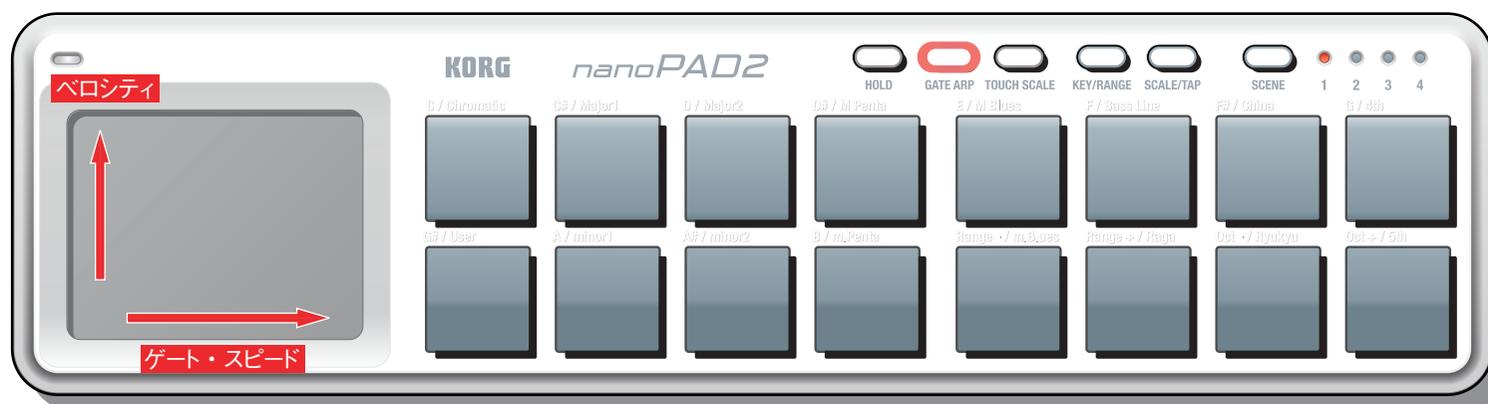
nanoPAD2のパラメーターは、KORG KONTROL Editorソフトウェアで設定します。
最新のKORG KONTROL Editorソフトウェアをコルグ・ホームページよりダウンロードし、インストールしてください。(http://www.korg.co.jp/)

note KORG KONTROL Editorソフトウェアのインストールや使い方については、KORG KONTROL Editorソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ゲート・アルペジエーターの動作

タッチ・スケール・モードが“オフ”の場合

X-Yパッドに触れているときのみ、トリガー・パッドに対してゲート・アルペジエーター機能が有効になります。



X軸: ゲート・スピード

発音する間隔の速さを設定します。

左端で1/2 (2分音符)、右端で1/48 (32分3連符)の間隔で発音します。

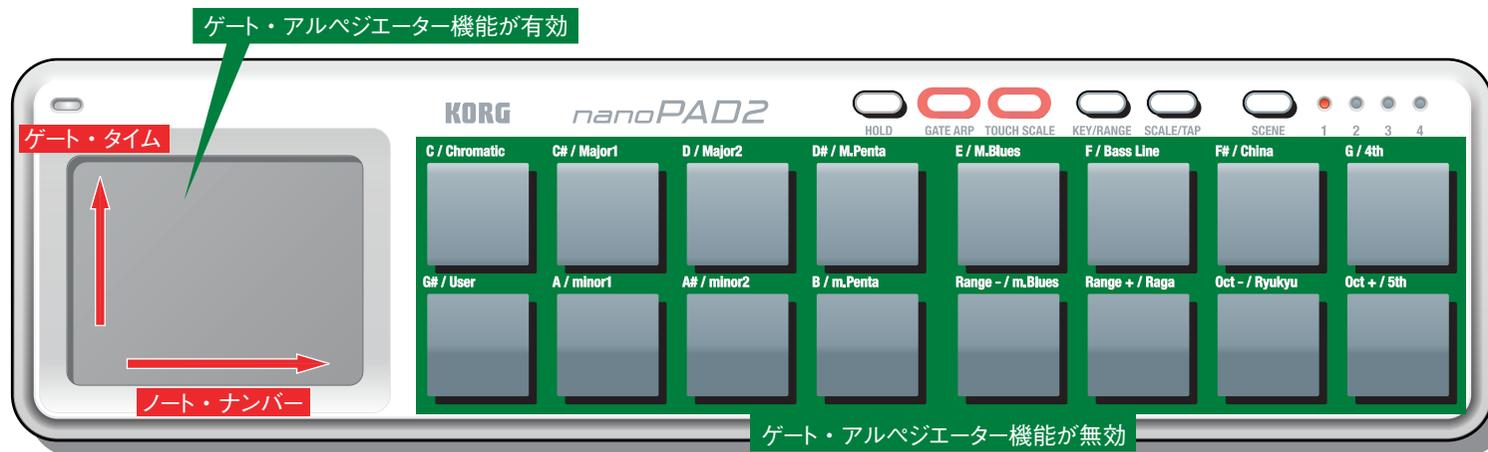
Y軸: ベロシティ

ゲート・アルペジエーターが送信するノート・メッセージのベロシティを設定します。

下端でベロシティ1、上端でベロシティ127でノート・メッセージを送信します。

タッチ・スケール・モードが“オン”の場合

タッチ・スケール機能に対してのみ、ゲート・アルペジエーター機能が有効になります。
トリガー・パッドには、ゲート・アルペジエーター機能は無効になります。



X軸: ノート・ナンバー

設定されたスケール、キー、ノート・レンジ、オクターブ・シフトにそってノート・メッセージを送信します。

Y軸: ゲート・タイム

発音の長さを設定します。

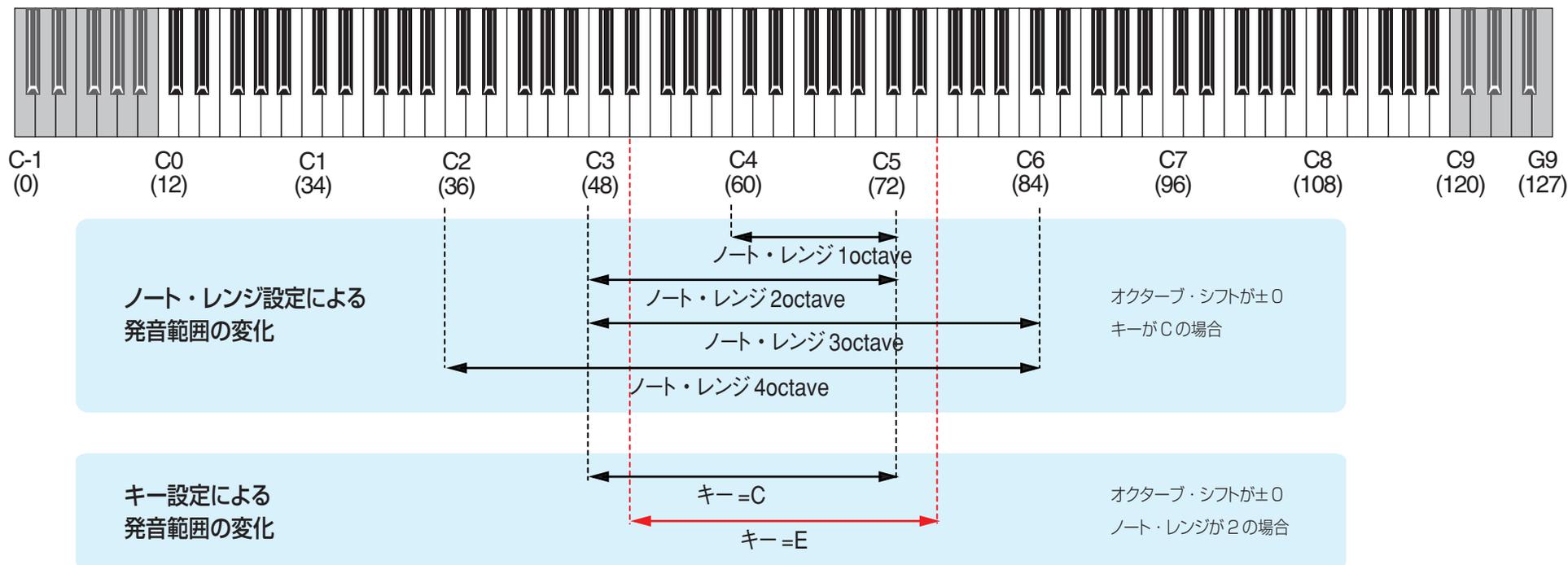
下端でもっとも短い発音時間になり、上へ行くほど発音時間が長くなります。

上端はレガートとなります。

タッチ・スケール・モードの動作

タッチ・スケール・モードの発音範囲

タッチ・スケール・モードでは、ノート・レンジやキー、オクターブ・シフトの設定によって以下のように発音範囲が変化します。



nanoPAD2のシーン・パラメーター

Trigger Pad

アサイン・タイプによってノート・メッセージ、コントロール・チェンジ・メッセージ、またはプログラム・チェンジ・メッセージを送信します。

1個のトリガー・パッドには、最大4つのノート・ナンバー、またはコントロール・チェンジ・ナンバーを割り当てることができ、同時に送信することができます。

note 1個のトリガー・パッドで複数のノート・メッセージを送信する場合、すべて同じベロシティで送信します。

MIDI Channel [1...16/Global]

トリガー・パッドを押したときに送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを設定します。“Global”へ設定した場合は、*Global MIDI channel* (p.8)で送信します。

Assign Type [No Assign/Control Change/Note/Program Change]

トリガー・パッドに割り当てるメッセージを設定します。

無効、コントロール・チェンジ・メッセージ、ノート・メッセージ、またはプログラム・チェンジ・メッセージを割り当てることができます。

Pad Behavior [Momentary/Toggle]

トリガー・パッドの動作を次の2タイプから選びます。

Momentary アサイン・タイプで“Note”を割り当てた場合、トリガー・パッドを押したときにノート・オンを、戻したときにノート・オフのメッセージを送信します。

“Control Change”を割り当てた場合、トリガー・パッドを押したときに割り当てたコントロール・チェンジ・メッセージの127を、戻したときに0の値を送信します。

Toggle アサイン・タイプで“Note”を割り当てた場合、トリガー・パッドを押すたびに交互にノート・オンとノート・オフのメッセージを送信します。

“Control Change”を割り当てた場合、トリガー・パッドを押すたびに割り当てたコントロール・チェンジ・メッセージの127と0の値を交互に送信します。

note アサイン・タイプで“Program Change”を割り当てた場合は、Pad Behaviorの設定は無効になり、常にトリガー・パッドを押した瞬間にプログラム・チェンジ・メッセージを送信します。

Note Number [C-1...G9/No Assign]

アサイン・タイプで“Note”を割り当てたときに送信するノート・ナンバーを設定します。

Control Change Number [0...127/No Assign]

アサイン・タイプで“Control Change”を割り当てたときに送信するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

Program Change Number [0...127]

アサイン・タイプで“Program Change”を割り当てたときに送信するプログラム・チェンジ・ナンバーを設定します。

Gate Arp Enable [Disable/Enable]

ゲート・アルペジエーター機能の有効/無効を設定します。

無効に設定したトリガー・パッドは、ゲート・アルペジエーターをオンにしてもゲート・アルペジエーター機能は動作しません。

Touch Scale Gate Arp Enable [Disable/Enable]

タッチ・スケール・モードが“オン”のときの、ゲート・アルペジエーター機能の有効/無効を設定します。

通常、タッチ・スケール・モードが“オン”のときは、トリガー・パッドはゲート・アルペジエーター機能が無効になります。このパラメーターを有効に設定すると、タッチ・スケール・モードが“オン”のときでも、トリガー・パッドのゲート・アルペジエーター機能が有効になります。

nanoPAD2のグローバル・パラメーター

nanoPAD2の全体的な設定を行うのがグローバル・パラメーターです。
ここでの設定は、4つのシーンへ共通して反映されます。

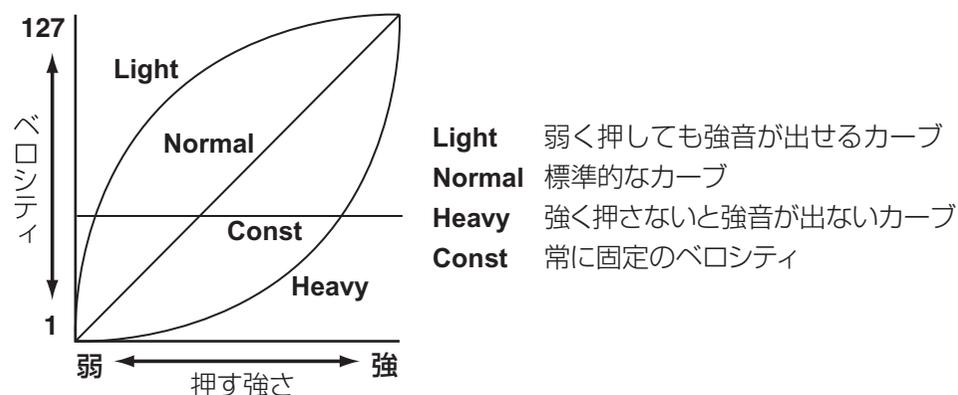
Common

Global MIDI Channel [1...16]

操作するアプリケーションのMIDIチャンネルに合わせて設定します。

Velocity Curve [Light/Normal/Heavy/Const]

トリガー・パッドを押す強さによる音量強弱の変化の度合いを設定します。
3種類のベロシティ・カーブ、または固定値のいずれかを設定します。



Const Velocity Value [1...127]

ベロシティ・カーブを“Const”に設定したときに送信するベロシティ値を設定します。

BPM [20.0...300.0]

ゲート・アルペジエーターのテンポ(速度)を設定します。



KORG KONTROL Editorでグローバル・データを受信した場合、nanoPAD2のグローバル・データに設定されたBPMを受信されます。
タップ・テンポ機能で設定したBPMではありません。

MIDI Clock [Auto/Internal/External]

アプリケーションとnanoPAD2のゲート・アルペジエーターを同期させるときに設定します。

Auto

アプリケーションからMIDIクロックが入力されたときに、自動的に“External”として動作します。入力がない場合は“Internal”として動作します。

Internal

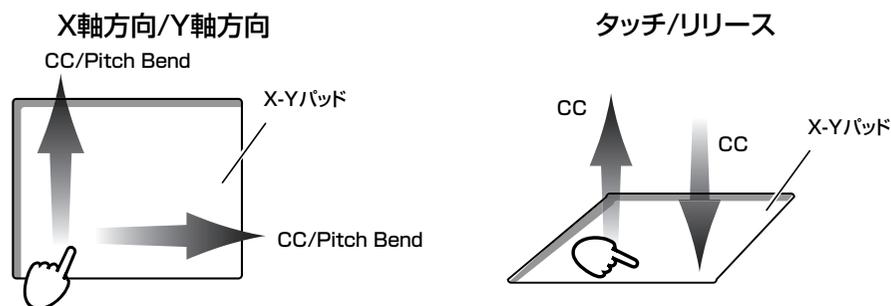
内部クロック([BPM]パラメーターまたはタップ・テンポで設定)でゲート・アルペジエーターが動作します。アプリケーションと同期せず、nanoPAD2単体で使用するときを設定します。

External

アプリケーションからのMIDIクロックに同期して、nanoPAD2のゲート・アルペジエーターが動作します。

X-Y Pad

タッチ・スケール・モードが“オフ”のとき、X-Yパッドに指を触れながらX軸(左右)、Y軸(上下)へ操作すると、コントロール・チェンジ・メッセージやピッチ・ベンド・メッセージを送信します。また、X-Yパッドへタッチ/リリースしたときも、コントロール・チェンジ・メッセージを送信します。



MIDIチャンネル

MIDI Channel [1...16/Global]

X軸、Y軸およびタッチ、リリース時に送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを設定します。

“Global”に設定した場合は、*Global MIDI channel* (p.8) で送信します。

X軸方向、Y軸方向

X軸またはY軸へそれぞれ割り当てるメッセージ、コントロール・チェンジ・ナンバー、ポラリティ(極性)を設定することができます。

Assign Type [No Assign/CC/Pitch Bend]

X-YパッドのX軸方向、またはY軸方向に割り当てるメッセージをそれぞれ設定します。無効、コントロール・チェンジ・メッセージ、またはピッチベンド・メッセージを割り当てることができます。

Control Change Number [0...127]

アサイン・タイプで“CC”(コントロール・チェンジ・メッセージ)を割り当てたときに送信するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

Polarity [Normal/Reverse]

X-YパッドのX軸方向、またはY軸方向の値のポラリティ(極性)を設定します。

Normal

通常の動作をします。X軸方向は左端が小さい値に、右端が大きい値になります。Y軸方向は下端が小さい値に、上端が大きい値になります。

Reverse

大きい値と小さい値が反転します。X軸方向は左端が大きい値に、右端が小さい値になります。Y軸方向は下端が大きい値に、上端が小さい値になります。

タッチ、リリース

X-Yパッドに指を触れたときや、離れたときにコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。

Touch Enable [Disable/Enable]

タッチ、リリースの有効または無効を設定します。

Control Change Number [0...127]

送信するコントロール・チェンジ・メッセージのコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

On Value [0...127]

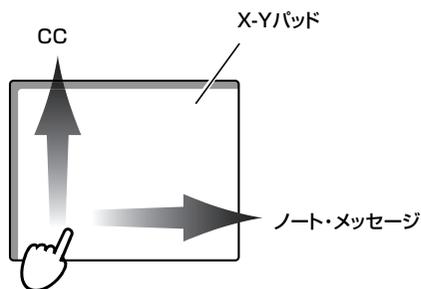
X-Yパッドを触れたときに送信するメッセージの値を設定します。

Off Value [0...127]

X-Yパッドから指を離れたときに送信するメッセージの値を設定します。

Touch Scale

タッチ・スケール・モードが“オン”のとき、X-Yパッドに指を触れながらX軸へ操作するとノート・メッセージを送信し、Y軸へ操作するとコントロール・チェンジ・メッセージを送信します。



MIDI Channel [1...16/Global]

タッチ・スケール・モードのときに送信するMIDIメッセージのMIDIチャンネルを設定します。

“Global”に設定した場合は、*Global MIDI channel* (p.8) で送信します。

Note On Velocity [1...127]

タッチ・スケール・モードのときに送信するノート・メッセージのベロシティを設定します。

Y-axis CC Enable [Disable/Enable]

X-YパッドのY軸方向の有効または無効を設定します。

Y-axis Control Change Number [0...127]

送信するコントロール・チェンジ・メッセージのコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。

Y-axis Polarity [Normal/Reverse]

X-YパッドのY軸方向の値のポラリティ(極性)を設定します。

Normal 通常の動作をします。下端が小さい値に、上端が大きい値になります。

Reverse 大きい値と小さい値が反転します。下端が大きい値に、上端が小さい値になります。

Gate Speed [1/48...1/2]

タッチ・スケールが“オン”のときの、ゲート・アルペジエーターの設定したテンポに対するレゾリューション(発音の間隔)を設定します。

設定したテンポに対して、以下のレゾリューションで演奏します。

1/48	
1/32	
1/16	
1/12	
1/8	
1/6	
3/16	
1/4	
1/3	
3/8	
1/2	

User Scale

タッチ・スケール機能で、nanoPAD2には15種類のスケールを内蔵していますが、これ以外にオリジナルのスケールを編集して使用することができます。

パラメーター

Length [1...12]

ユーザー・スケールは、1オクターブ中で最大12音まで設定できます。1オクターブ中で有効にしたい音の数を設定します。

Note Offset 1...12 [0...+12]

キーで設定されているピッチに対しての差を半音単位で設定します。

ユーザー・スケールの設定例

Major Pentatonicスケールを設定する場合

ここでは、ユーザー・スケールの設定例としてMajor Pentatonicスケールを設定する方法を説明します。

Major Pentatonicスケール(キーがCの場合) C D E G A (C)

1. レングスを設定します。

Major Pentatonicスケールは、「C D E G A」の5音で構成されているので、「5」を設定します。

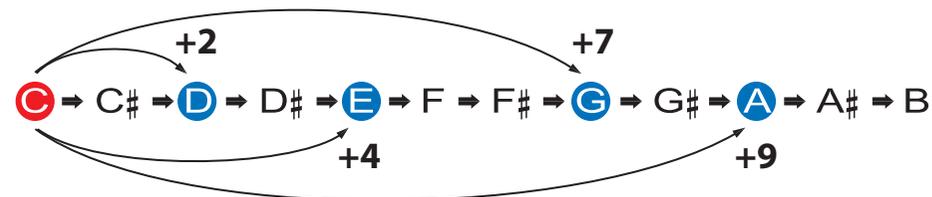
2. ノート・オフセットを設定します。

最初の「C」は、キーに設定された「C」と同じ音なので、「0」を設定します。

次に「D」は、キーに設定された「C」に対して2音高いので、「2」を設定します。

以降の音も同様にノート・オフセットを設定します。

Major Pentatonicスケールの設定例

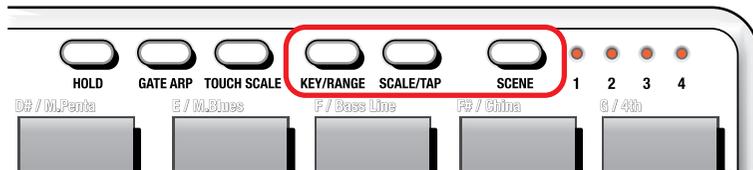


Length	5
Note Offset 1	0
Note Offset 2	+2
Note Offset 3	+4
Note Offset 4	+7
Note Offset 5	+9

工場出荷時の状態に戻す方法

KEY/RANGEボタン、SCALE/TAPボタン、およびSCENEボタンを押しながら電源を入れると、シーンLEDが点滅を開始し、nanoPAD2の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

作業が終了すると点滅が止まります。



工場出荷時の状態に戻すには、電源を入れてから数秒程度の時間がかかります。シーンLEDの点滅中は絶対に電源を切らないでください。

故障とお思いになる前に

■トリガー・パッドのベロシティが効かない

- トリガー・パッドのベロシティ・カーブ設定を確認してください。

■nanoPAD2から送信したMIDIメッセージにアプリケーションが応答しない

- nanoPAD2が送信するデータのMIDIチャンネルと、アプリケーションのMIDIチャンネルが同じ番号に設定されているか確認してください。

■トリガー・パッドやX-Yパッドを操作してもアプリケーションが応答しない

- アサイン・タイプが正しく設定されているか確認してください。
- nanoPAD2の機能を使用するには、ご使用になるアプリケーションの設定が必要になる場合があります。各アプリケーションの取扱説明書を参照し、設定してください。

■ゲート・アルペジエーターが動作しない

- MIDI Clockが正しく設定されているか確認してください。
- トリガー・パッドの *Gate Arp Enable* (p.7) が正しく設定されているか確認してください。

付録

スケール・リスト

No.	SCALE NAME	SCALE [KEY C]
1	Chromatic (Chromatic)	C D _b D E _b E F G _b G A _b A B _b B C
2	Major 1 (Ionian)	C D E F G A B C
3	Major 2 (Mixolydian)	C D E F G A B _b C
4	M.Penta (Major Pentatonic)	C D E G A C
5	M.Blues (Major Blues)	C E _b E G A B _b C
6	Bass Line (Bass Line)	C G B _b C
7	China (Chinese Scale)	C E F [#] G B C
8	4th (4th Interval)	C F B _b C
9	User (User)	
10	minor 1 (Dorian)	C D E _b F G A B _b C
11	minor 2 (Aeolian)	C D E _b F G A _b B _b C
12	m.Penta (minor Pentatonic)	C E _b F G B _b C
13	m.Blues (minor Blues)	C E _b F G _b G B _b C
14	Raga (Raga Bhairav)	C D _b E F G A _b B C
15	Ryukyu (Ryukyu)	C E F G B C
16	5th (5th Interval)	C G C